

報告書（骨子案）

はじめに

※ やさしい日本語の歴史、ガイドライン策定までの経緯や報告書の目的等について言及

第1 やさしい日本語の普及の現状

1 国の取組

- （１）出入国在留管理庁
- （２）文化庁

2 地方公共団体等の取組例

3 アンケート等の調査結果

- （１）令和元年度「国語に関する世論調査」（文化庁）
- （２）2021年4月実施 自治体の活用状況及び意識についてのアンケート
（出入国在留管理庁）

第2 やさしい日本語の普及に関する課題及び取組の方向性

※ アンケート等の調査結果に加え、資料2「これまでの委員からの御意見等」の内容やそれを基に第2回会議で議論された内容を報告書に記載（普及推進のために解決すべき課題と普及推進のための取組の方向性に係る内容を記載）

1 普及推進のために解決すべき課題

2 普及推進のための取組の方向性

第3 やさしい日本語の普及に必要なと思われる今後の取組

1 短期的に必要な取組

2 中長期的に必要な取組

※ 第2の2の普及推進のための取組の方向性の記載内容を踏まえ、具体的にどのような取組が必要と考えられるかについて、「1 短期的に必要な取組」と「2 中長期的に必要な取組」に分けて記載

特に、「1 短期的に必要な取組」においては、今後具体的にどのようなツールを作成、活用し、普及に努めることが有効かという観点から記載